

昭和56年度 研究集録

豊かな人間性を育てる特別活動

◎ まえがき

部会長 加藤正澄

- ・ 名古屋市の特別活動教育課程の検討がなされ、次の2点に集約される。
- ①各学校の特別活動と他教科・領域との関連を図り、全体指導計画の作成が望まれる。
- ②委員会活動・代表委員会・学級指導等を行う時間は、創意活動の時間の運用の中で考え、設定することが望まれる。

◎ 「学校の人間化」と「学校の主体性の確立」に最も貢献できるのは特別活動の領域

指導主事 若山 旭

- ・ 学校の教育課程を教師の創意工夫によって、ゆとりある充実のあるしかも子どもたちがいきいきとした学校生活が送れるようにすべきである。

◎ 特別活動と生徒指導

指導主事 中川 篤

- ・ 特別活動は、生徒指導の面からも学校における全体の教育活動の中で、特に重要な位置づけがなされている。児童生徒の心理を考えれば、特別活動本来の目標を生かし、その機能を十分に発揮することが必要である。

◎ 特活研究雑感

センター指導主事 石黒弘明

- ・ 時代がかわっても研究の基本は不変である。名古屋市特活の育ての親というべき早川三雄先生が教育研究についての視点としてあげられている五本の柱をもう一度読み返したい。

第1部 小学校編

子どもたちが喜んで取り組む学級会活動への試み

- 1 低学年の学級会 子どもたちの興味・関心をひきつけるために
- 2 中学年の学級会 学級会を児童の手にまかせるために
- 3 高学年の学級会 やりとげた喜びをみんなのものとするために

自主性を伸ばす児童会活動の指導助言

- 1 代表委員会活動
- 2 委員会活動
- 3 児童集会活動

やる気を起こすクラブ活動 ー全体計画の立案と各クラブの運営ー

- 1 クラブ活動の全体指導計画とクラブの編成
- 2 各クラブ発足時の指導
- 3 活動の継続的发展

自主的・実践的態度を育てる学級指導 ー効果的な資料のあり方ー

- 1 資料の意義と選択の観点
- 2 資料と指導過程
- 3 実践例

一人一人の自主性を育てる学校行事 ー指導計画の構造化による児童の積極的参加を図る手立てを求めてー

- 1 学校行事における自主性
- 2 めざす児童像
- 3 指導の重点の具体化と指導計画の構造化
- 4 実践例

第2部 中学校編

自主性を高める学級会活動

- 1 やる気を育てる係活動の指導
- 2 一人一人の意見を大切にしたい係活動の指導
- 3 協力する態度を育てる学級集会活動
- 4 学級生活向上をめざす学級会活動

学級生活の改善向上を図る生徒会活動

- 1 一人一人が活動できる文化祭の取り組み
- 2 合唱発表への取り組み

自主性をのばすクラブ活動 ー評価を取り入れた指導のあり方ー

- 1 T中学校バレーボールクラブの実践例
- 2 N中学校総合運動クラブの実践例
- 3 実践からみた考察と問題

望ましい学級集団への適応を図る学級指導

- 1 実践例A ー 望ましい学級集団作りをめざして
- 2 実践例B ー 進路指導を中心とした学級指導
- 3 実践例C ー 望ましい生活習慣を育てる学級指導
- 4 実践例D ー 自ら考え、実践する生徒を育てる学級指導

一人一人の自主性を育てる学校行事 ー指導計画の構造化による生徒の積極的参加を図る手立てを求めてー

- 1 学校行事における自主性
- 2 めざす生徒像
- 3 指導の重点の具体化と指導計画の構造化
- 4 実践例

◎ あとがき

市特別活動研究会委員長 清水敏宏

「豊かな人間性」を追求している特別活動は、子ども一人一人をよく見つめ、他人を思いやるあたたかい心を持つ子どもに育てることである。そのために、指導者が、子どもの要求していること、悩んでいることを的確にとらえる目を育てることが必要だと考える。